

学校給食検討会（第1回）

会議報告

日時	令和5年11月14日（火）15:00～16:30
場所	沼南庁舎 4階 401会議室
出席者	別添のとおり
議事	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学校給食費について (2) 「柏市学校給食将来構想」の見直しについて (3) その他
要旨	<p>(1) 学校給食費について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食費の現状として、給食の提供に係る事業費、保護者負担、物価高騰の状況、近隣自治体の動向等を説明し、現在の給食費では牛乳以外の食材に使えるお金が少なくなっているため質の確保が厳しい状況にあること、給食費の改定が必要な状況にあることについて理解が得られた。 ・給食費の改定に当たっては、保護者や学校関係者に丁寧な説明が必要になるため、リーフレット等の作成が必要であるとの意見が出された。 ・次回の検討会で改定額の具体的な金額を議論する。 <p>(2) 「柏市学校給食将来構想」の見直しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改訂案の概要を説明した。反対意見はなかった。 ・自校方式給食室の工事中の対応として、新学校給食センターから一時的に給食を配送することは保護者や学校の負担軽減につながるため理解が得られた。 ・学校給食の運営において調理員の確保は大きな課題である。学校のあり方の議論を受けて今後の対応を検討していく。 ・自校方式校への臨時配送に伴ってセンター給食の質が落ちては困るため、給食の質を落とさずに配送できるセンターを整備していく。 ・次回の検討会で将来構想の本編を提示し、意見をもらう。
内容	<p><主な意見・質疑（要約）></p> <p>(1) 学校給食費について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度から現在までの間に消費増税や物価高騰を受けているが、学校現場はどのような状況か。（学校給食課） →以前と同じ感覚では献立作成（給食費のやりくり）はできないと感じる。補助があっても食材費には気を配らなければならない厳しい状況にある。例えば、今年の夏場は天候の影響等で野菜が3倍以上の値段になるなど、物価高

騰以外の影響もある。（柏市学校栄養士会）

→魚は切り身が十分な大きさに購入できないため混ぜご飯で提供するなど、補助があっても使い方は厳しい。子どもたちは、普段家庭で食べない食材はなかなか食べてくれないし、残渣の問題もあるが、工夫しながら、なるべく多くの食材を食べてほしい。（柏市学校栄養士会）

→センターでも自校方式と同様に魚や果物を十分に提供できない。自校方式と比べれば大量発注となるため単価は安いかもしれないが、厳しい状態である。（柏市学校栄養士会）

・松戸市では保護者から値上げに対する意見はあったか。（柏市PTA連絡協議会代表）

→値上げした年度は市が値上げ分に対する補填措置を行っている。このため、保護者からの苦情は殆どなかったと聞いている。（学校給食課）

・仮に、松戸市と同じように柏市が補助を実施した場合はどの程度の額になるか。（柏市PTA連絡協議会）

→2.5億円から5億円になる。（学校給食課）

・平成21年の価格は今とかなりかけ離れている。今日まで給食費を値上げしていないこと自体がおかしい。保護者からクレームが出る可能性はあるが、一時的なのではないか。（柏市PTA連絡協議会）

→物価高騰の影響は、月額だと、自校方式は4,500円の食材費が6,000円弱になる。肌感覚としてどうか。（学校給食課）

・物価高騰分は上げざるを得ないと思う。個人的には、給食費の上昇分は食べる側が負担すべきではないか。高く払えないというのであれば、給食か弁当の選択制という話になると考える。（柏市PTA連絡協議会）

・丁寧な説明を受けて、物価上昇分は上げざるを得ないのではないかと感じた。栄養士さんの努力も含め、丁寧に説明しながら進めてはどうか。今回の3か月無償化は、突然通知文書で知らされたため学校現場は混乱した。早めに伝えていただきたい。（柏市小中学校校長会）

・センター方式と自校方式で給食費の額が異なるのはなぜなのか。自校方式の方がおいしいと感じる。センター方式も自校方式と同程度の給食費にして、給食の質を引き上げてはどうか。（柏市小中学校校長会）

→金額差の主な理由は、食材の仕入れ量が違うことによるケールメリットが働いていることである。（学校給食課）

→現在の給食センターは、自校方式と同じものを作る施設ではないため、中学校給食は1品少ない。小学校中学校が同じメニューとなり、栄養価は量を

調整して対応するため、自校方式よりも食材費がかからない。給食費も安価になっている。(柏市学校栄養士会)

→現在の給食センターの課題を解決し、自校方式と同等の給食が提供できる給食センターを整備する。新センターの整備に伴い、改めて献立内容に見合った給食費の検討が必要になると考える。(学校給食課)

・物価高騰への対応としての値上げには反対しない。子どもたちの成長に合った給食を提供するためには必要だと考える。今回の3か月無償化は突然の連絡だったため現場が混乱した。値上げの際には、早めに丁寧な説明がほしい。値上げの説明では、センター建て替え後は給食費が自校方式と同等程度になることも保護者に説明していくことが必要である。家庭とは違う献立が出ることを楽しみにしている子どもたちもいる。(柏市小中学校校長会)

・平成21年の金額でよくやっていただいたと感じた。栄養士とも話をして値上げについては納得している。急な値上げは反対が出ると思われる。食材価格の高騰に関連し教材費もあがっているが、保護者へ連絡したところ反対する意見はなかった。説明をしっかりと行えば保護者は理解してくれると思う。値上げの時期はいつ頃を想定しているのか。(柏市副校長・教頭会)

→できれば来年度4月から値上げをしたい。次回、12月の検討会で了承が得られれば校長会に改定案を示し、年初に公表したい。(学校給食課)

・20%の引き上げは衝撃的な数字に感じる。計画的に進めるなど、進め方を検討いただきたい。(柏市副校長・教頭会)

・例えば、リーフレットで給食費の仕組みや現状等をお知らせしてはどうか。また、定期的に給食費を見直すことも付け加えてはどうか。

・小学校6年生から中学校1年生にかけての給食費の上り幅も大きい。中学1年生向けには入学前に説明があってもよい。(柏市小中学校校長会)

(2) 「柏市学校給食将来構想」の見直しについて

・給食室にはエアコンが設置されていないと聞いた。設置しないのか。(柏市PTA連絡協議会)

→エアコン設置に向けた調査を令和5年度に実施した。導入時期は現在調整中である。(学校給食課)

・給食センターの建て替えの見通しを教えてください。(柏市小中学校校長会)

→現在は候補地の地権者と交渉中である。土地取得の目途が立てば速やかに建設に向けて動きたい。センターの竣工に3～4年はかかる。(学校給食課)

・自校方式給食室の改修期間中は弁当持参だったため保護者の負担が大きかつ

た。センターからの臨時配送が「ある」と「ない」とでは大きな違いがある。
ぜひ実現してほしい。（柏市小中学校校長会）

- ・調理員の確保は課題であるため、自校方式がセンター方式になるのも時代の流れかと思っていた。現在も学校によっては調理員が不足しているという話を聞いているため心配である。（柏市学校栄養士会）

→働き手不足は大きな課題である。学校の立地地域によって差があるのは事実である。市教育委員会では、学校のあり方についても議論が進められてるため、その結果を踏まえた対応が求められると考えている。（学校給食課）

- ・自校方式の学校へ臨時給食を提供することでセンター配送校の給食の質が落ちることがないようにしてほしい。配送距離も含めて、衛生管理基準を守ること、人の確保も含めて考慮いただきたい。（柏市学校栄養士会）

→自校方式のための給食センターではない。センター給食の質の確保・向上に努めていく。（学校給食課）

- ・現在のセンター周辺に新しいセンターができれば、北部の学校にも安全に給食を配送できるのか。（柏市学校栄養士会）

→北部への配送も考慮して可能な限り柏市中心部への建設を検討してきた。しかし、土地の確保が難航しているため、まずは南部の学校へ配送できることを基本に土地を取得していきたい。北部の学校への配送は別の方法を検討していく。（学校給食課）

- ・学校運営の視点で言えば、弁当持参は衛生面、安全面、忘れ物の対応を含め課題が多いため、センターからの臨時配送はありがたい。給食センターからの給食を受け入れる場所は検討されているのか。（柏市副校長・教頭会）

→仮配膳室の整備を考えている。（学校給食課）